

第Ⅲ期

子どもと希望 1

# Re imagi nation



子どもと不条理

それでも世界は生きるに値する

Children and the Absurd: Still, the World is Worth Living in  
“Children and Hope 1 :Reimagination” in Phase III

2024 5.27<sup>月</sup> - 10.21<sup>月</sup>

開館日・時間：月曜日-土曜日 10時-17時

会場：聖心女子大学4号館

聖心グローバルプラザ1階 BE\*hive

入場無料

日本語 English

WEB展示公開予定

For complete access in English,  
please visit the SHISF's online  
exhibitions portal.



グローバル共生研究所



WEB展示

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ  
PHONE: 03-3407-5811 E-MAIL: jimukyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP: <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

聖心グローバルプラザ  
BE\*hive  
展示+ワークショップスペース

## 「子どもと希望1~Reimagination~」

戦争や環境破壊という、すぐには解決できない課題を前にした時、本展で示されるような「子ども」の想像力にこそ、それを解くヒントがあるかもしれません。垣間見られるのは、より速く、より強く、より多く、という視点のない人間像。それが、直接対決を軽やかにかわし、豊かさの再考を促すのであれば、まさに希望と言えましょう。これまでI期とII期では、「子ども」をとりまく絶望を見てきましたが、III期では「子ども」の想像力に希望を見ます。少しでも住みよい世界のために。

### 「タカラモノ」

フォトグラファー 回里純子

フォトグラファーの回里純子が、日本、中国、フィリピンなど10ヶ国の子どもたちと「一番大切なものは？あなたにとってタカラモノはなに？」と対話をしながらシューティングしたポートレートシリーズ。同時代、同じ国に生まれながらも、言葉、文化、豊かさ、教育、政治、宗教……。その生きる環境は大きく異なり、時にはタカラモノという概念さえも通じないことがある。さまざまな環境で生きる子どもたちの『大切なもの』とは？

### 「どんなじごくへいくのかな、東京」

アーティスト 山本高之

アーティストの山本高之と6〜9歳の子どもたちが、4日間かけて「地獄」をテーマにワークショップ形式でつくった、さまざまな造形の立体・映像作品を展示(龍谷ミュージアム所蔵)。好きな人のことばかり考えて仕事をしない人がいく「ぜんぶハートじごく」など、ユーモアと想像力にあふれたじごくから、子どもの世界をひもときます。

制作/株式会社森岡書店

### 特別展示

## 「子どもたちの笑い声がつなぐもの ～絵本作家 かがくいひろしの世界～」

ミリオンセラーとなった「だるまさん」シリーズで知られる絵本作家・かがくいひろし(1955-2009年)は、特別支援学校の教員でした。障がい児教育の現場で、子どもの反応を引き出すものは何か、日々模索するなかで得た知見や発想をもとに、珠玉の絵本を生み出します。かがくいが、作品の軸に据えたのは「ユーモア」でした。

安心感に包まれて、からだを揺らして笑い転げる子どもたち。その笑い声は、時に希望となり、障壁を取り払い、人と人をつなぐ。笑顔で誰とでもつながっていける子どもたちの天性と共生の本質について、かがくいひろしの絵本は私たちに多くのことを教えてくれます。本展では、かがくいの教員時代の映像記録や制作物、絵本原画、未完となった作品を展示。笑顔の連鎖を生む、かがくい作品の源泉にせまります。



撮影:大志摩洋一

展示デザイン/柿原政広・内堀結友(10 inc.) 映像/へんひねこ 制作/森岡書店・沖本敦子・堀川佳子

### BE\*hive同時公開

## 創立75周年記念常設展

### 『これまでの歩み、これからの道』

聖心女子大学の社会奉仕活動は、75年の歩みのなかでどのように育まれ歩んできたのか。

初代学長マザーブリティ時代に築かれた本学の社会奉仕活動と、現代社会の課題に目を向け行動する学生の姿を展示しています。



### 第I期:子どもと戦争

2023年5月15日(月)-10月23日(月) ※終了

### 第II期:子どもと放射線~「ヒロシマ」をテーマに~

2023年10月30日(月)-2024年5月20日(月) ※終了

### 第III期:子どもと希望1~Reimagination~

2024年5月27日(月)-10月21日(月)

### 第IV期:子どもと希望2

2024年10月28日(月)-2025年4月下旬頃(予定)

## ワークショップのご案内

BE\*hiveの展示による学びをより深めるために、様々なワークショップをご用意しています。総合学習やその他グループ学習などの一環として、ぜひご利用ください。オンラインでも開催可能です。

#### ◆テーマ例:

##### 1. 子どもと放射線

核兵器の存在する世界は現世代だけでなく未来世代の子どもの生存権すらおよびやします。このワークショップでは、核兵器が存在する現状と「核なき世界」に向けた動きを知り、一人ひとりの想像力をもって、子どもの不条理のない社会(=核廃絶)の実現を構想することの大切さを学びます。

##### 2. 子どもと戦争

人類史は争いの絶えない歴史だったと言えます。子どもたちは戦争をどのように体験したのでしょうか。このワークショップでは、アウシュビッツへの中継地となったチェコスロバキア(当時のテレジン収容所に暮らした子どもたちの描いた絵をはじめ、戦争が何であるのかを今に伝える様々な資料を題材に、「戦争と平和」と子どもの権利について考えます。

##### 3. ジェンダー

当たり前だと思われていた「女性をめぐる常識」が大きく変化しつつある現代社会。私たちの日常生活や社会をジェンダーの視点で見ることを通じて、自らが行きたい社会を問い直してみましよう。

##### 4. 気候変動

気候変動の現状と原因を知り、自分たちの生活とのつながりを学び、さらに興味・関心を深めていきます。

##### 5. 日本にいる難民

世界と日本の難民問題や日本に住む難民のエピソードを通して、難民問題について考えます。

#### ◆対象・人数

原則として高校生以上、人数は20名前後(応相談)  
費用は無料/要事前予約(実施1か月前締切)

#### ◆所要時間

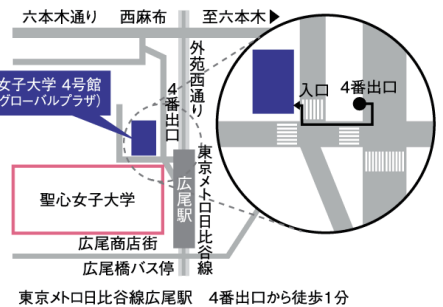
ご希望に応じておおよそ90分~120分程度で承ります

#### ◆質問・申込先

TEL: 03-3407-5811(代表)

E-mail: be-hive@g.u.-sacred-heart.ac.jp

ワークショップの企画・開発は、認定NPO法人開発教育協会(DEAR)  
<https://www.dear.or.jp/>と共同で行っています。



〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24

聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ

PHONE: 03-3407-5811

E-MAIL: jimmu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp

HP: <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

FACEBOOK INSTAGRAM

